

CentreCOM® WR211AP リリースノート

この度は、「CentreCOM WR211AP」をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

本製品と同梱されております、「CentreCOM WR211AP ユーザーマニュアル」とともにお読みいただき、本製品を正しくご使用いただけますようお願いいたします。

ファームウェアバージョン

ここで説明している機能は、ファームウェアバージョン「Ver 1.5.4」以降で対応しています。

現在のファームウェアバージョンは、本書の「1.3 「AP 情報」の項目追加」(p.5)で説明している「AP 情報」画面で確認することができます。

1 追加された機能

1.1 MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスフィルタリングは、アクセスポイントに無線 LAN カードの MAC アドレスを登録し、アクセスポイントを介した有線および無線ネットワークとの通信を、MAC アドレスが登録された無線 LAN カードだけに許可する機能です。

MAC アドレスが登録されていない無線 LAN カードは、アクセスポイントを介して有線および無線ネットワークと通信することができないので、SSID によるネットワークグループの識別機能や、暗号機能とともに使用することで、無線通信のセキュリティを、より高めることができます。

MAC アドレスフィルタリング機能の設定方法は、次の通りです。

MAC アドレスを登録する

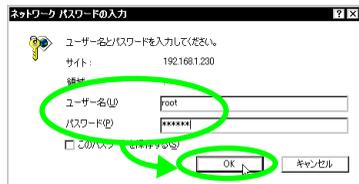
- (1) Web ブラウザーを起動します。
- (2) 「アドレス」に「<http://192.168.1.230/>」と入力し、「Enter」キーを押します。ここでは、本製品のデフォルトの IP アドレス「192.168.1.230」を例として使用します。



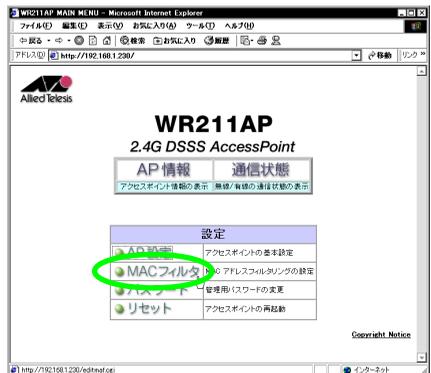
- (3) 「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、「OK」ボタンをクリックします。
「ユーザー名」には必ず、「root」と入力します。ここでは、「パスワード」に、デフォルトの「allied」を入力します。



入力したパスワードは、「*」で表示されます。

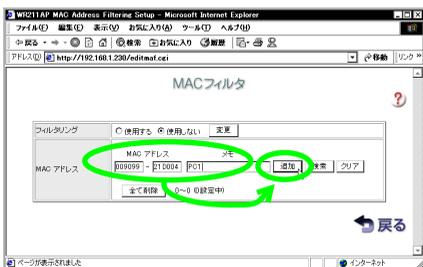


- (4) 設定管理ツールの起動画面が表示されます。「MAC フィルタ」をクリックします。



- (5) MACアドレス入力エリアに、通信を許可する無線 LAN カードの「MAC アドレス」を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

「クリア」ボタンをクリックすると、入力エリアの内容がクリアされます。



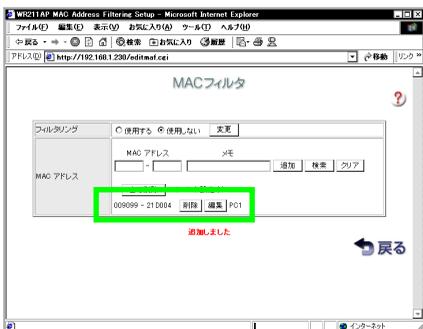
MACアドレスの上位3バイト(16進数で6桁)を「-」の左側の欄に、下位3バイト(16進数で6桁)を右側の欄に入力します。MACアドレスの入力には、「0~9」と「A~Fまたはa~f」が使用できます。

「メモ」には、半角英数字25文字(漢字・カナ12文字)以内で、登録する無線LANカードの情報を入力することができます。半角カタカナは使用しないでください。



無線LANカードのMACアドレスは、カードの裏面に貼られている「MACアドレスラベル」で確認することができます。また、カードがコンピュータに取り付けられている場合には、コンピュータで「winipcfg.exe」(Windows NT/2000の場合は、「ipconfig.exe」)を実行して確認することができます。

- (6) MACアドレスが正しく登録されると、入力エリアの下にリストとして表示されます。MACアドレスは、最大2000件まで登録が可能です。一度にリストに表示されるMACアドレスは20件までで、それより多くなると、次のページに表示されます。



- (7) 既に、MACアドレスフィルタリング機能を「使用する」に設定している場合は、MACアドレスの登録を更新するために、「変更」ボタンをクリックし本製品を再起動してください。

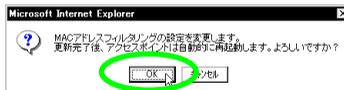
い。本製品を再起動しないと、正しく動作しない場合があります。

機能を有効にする

- (1) 「フィルタリング」の「使用する」をクリックし、「変更」ボタンをクリックします。



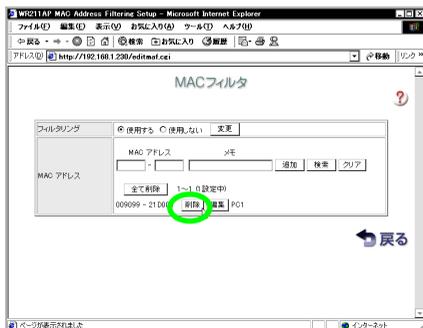
- (2) 「設定の更新確認」のダイアログボックスで、「OK」ボタンをクリックします。本製品は、自動的に再起動し、設定が有効になります。



- (3) 機能を無効にする場合には、「フィルタリング」の「使用しない」をクリックし、「変更」ボタンをクリックします。

MACアドレスを削除する

- (1) リストに表示されている個々のMACアドレスの横にある「削除」ボタンをクリックすると、そのMACアドレスだけを削除することができます。



- (2) 「削除の確認」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



- (3) リストから MAC アドレスが削除されます。

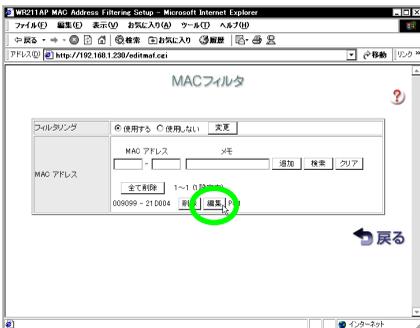


- (4) 登録したすべての MAC アドレスを削除したい場合は、「全て削除」ボタンをクリックします。

- (5) MAC アドレスフィルタリング機能を「使用する」に設定している場合は、MAC アドレスの登録を更新するために、「変更」ボタンをクリックし本製品を再起動してください。本製品を再起動しないと、正しく動作しない場合があります。

MAC アドレスを修正する

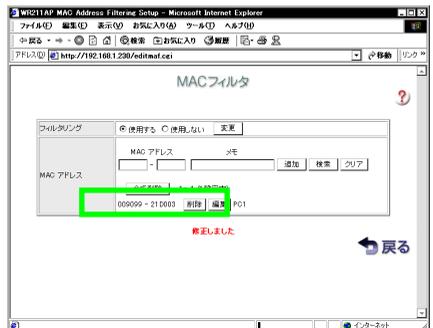
- (1) リストに表示されている個々の MAC アドレスの横にある「編集」ボタンをクリックすると、MAC アドレスの登録内容を変更することができます。



- (2) 入力エリアに、MAC アドレスとメモが表示されますので、ここで内容を修正し、「修正」ボタンをクリックします。



- (3) リストに修正した内容が表示されます。

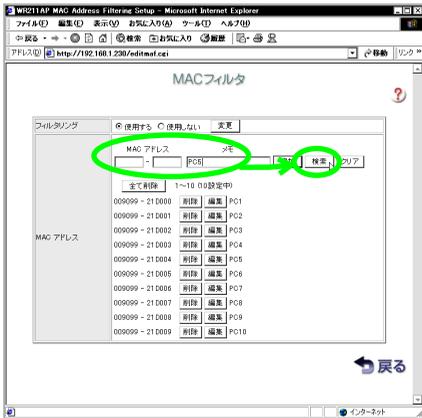


- (4) MAC アドレスフィルタリング機能を「使用する」に設定している場合は、MAC アドレスの登録を更新するために、「変更」ボタンをクリックし本製品を再起動してください。本製品を再起動しないと、正しく動作しない場合があります。

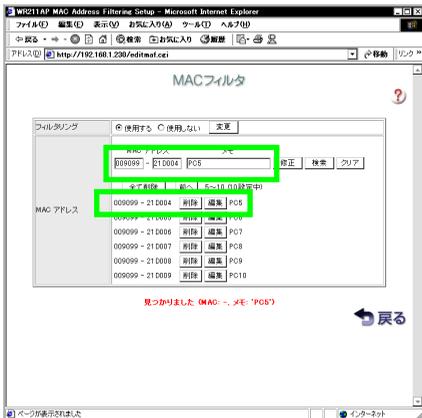
MAC アドレスを検索する

- 「MAC アドレスの上位 3 バイト (16 進数で 6 桁)」、「MAC アドレスの下部 3 バイト (16 進数で 6 桁)」または「メモに記入した文字列」をキーとして、登録した MAC アドレスのリストを検索することができます。

- (1) 「MACアドレスの上位3バイト(16進数で6桁)」、「MACアドレスの低位3バイト(16進数で6桁)」または「メモに記入した文字列」のどれかを、入力エリアに入力し、「検索」ボタンをクリックします。



- (2) 検索が成功した場合には、リストの一番上に検索されたMACアドレスが表示され、入力エリアにも表示されます。



- (3) 検索した MAC アドレスを削除または修正したい場合には、「MACアドレスを削除する」(p.2)、「MACアドレスを修正する」(p.3)を参照してください。

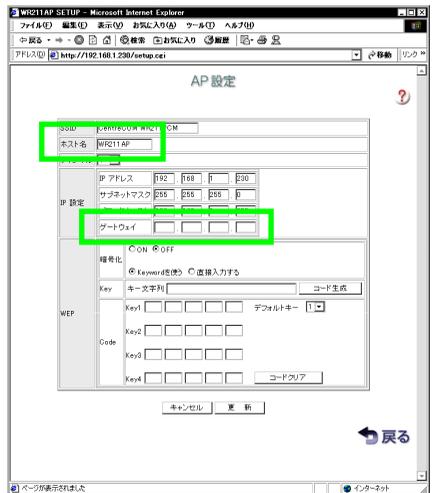
1.2 「AP 設定」の項目追加



CentreCOM WR211AP ユーザーマニュアル
「2.2 WEB からの変更」を参照

Web から本製品の設定を変更する場合の「AP 設定」に、次の2項目が追加されました。

- ・ ホスト名
- ・ ゲートウェイ



ホスト名

アクセスポイントの「ホスト名」を設定します。ホスト名は半角英数字 16 文字以内で設定することができます。1 文字目は、必ず英文字で設定してください。2 文字目以降には、英文字と数字、「- (ハイフン)」を使用します。

ゲートウェイ

アクセスポイントが接続されるネットワークにゲートウェイが存在する場合は、その装置の IP アドレスを指定します。

1.3 「AP 情報」の項目追加



CentreCOM WR211AP ユーザーマニュアル
「4.2 AP 情報」を参照

「AP 情報」にも、次の2項目が追加されました。

- ・ ホスト名
- ・ ゲートウェイ



Gateway

アクセスポイントが接続されるネットワークに存在する、ゲートウェイのアドレスを表示します。ゲートウェイのアドレスが指定されていない場合は、「EMPTY」と表示されます。



Hostname

アクセスポイントの「ホスト名」を表示します。



1.4 TERMINAL ポートからの設定項目追加



CentreCOM WR211AP ユーザーマニュアル
「B TERMINAL ポートからの設定」を参照



ここでは、Windows に標準装備されている「ハイパーターミナル」を使用する場合を例として説明します。間違っに入力した文字を修正したい場合には、設定を変更すると、文字の削除が可能になります。

「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックし、設定タブで設定を変更します。

・ Windows 98 / 2000 / Me の場合

「BackSpaceキーの使い方」で、「Delete(D)」を設定すると、「BackSpace」キーで1文字削除が可能になります。

・ Windows NT の場合

「エミュレーション」を「VT100」に設定すると、「Delete」キーで1文字削除が可能になります。

TERMINAL ポートから本製品の設定を変更する場合の、「情報表示」、「設定」の項目に、下記の項目が追加されました。

「情報表示」の追加項目

「情報表示」には、次の3項目が追加されました。

- ・ Gateway
- ・ Hostname
- ・ MAC Address Filtering

MAC Address Filtering

MAC アドレスフィルタリング機能の有効 / 無効を表示します。



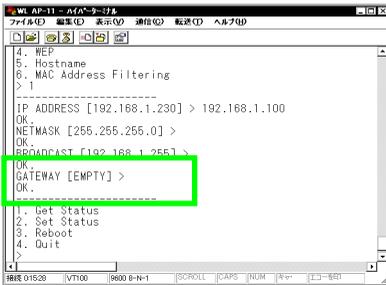
「設定」の追加項目

「設定」にも、次の3項目が追加されました。

- Gateway
- Hostname
- MAC Address Filtering

GATEWAY

ゲートウェイのアドレスを設定します。現在の設定の後に、新しいアドレスを入力します。変更しない場合は、「Enter」キーだけを押します。



Hostname

アクセスポイントの「ホスト名」を設定します。現在のホスト名の後に、新しいホスト名を入力します。変更しない場合は、「Enter」キーだけを押します。



MAC Address Filtering

MAC アドレスフィルタリング機能の有効 / 無効を設定します。有効にする場合には、「Y」を、無効にする場合には、「N」を入力します。



2 仕様が変更された機能

ファームウェアの更新



ファームウェアバージョン「Ver 1.1.1c」から「Ver 1.5.4」に更新する場合は、この手順とは異なりますので、ファームウェアの「README」をご覧ください。



ファームウェア更新手順の詳細につきましては、ファームウェアの「README」ファイルをお読みください。「README」には、ここに記述されていない、最新の情報が記載されています。

本製品のファームウェアの更新は、すべて、「AP ユーティリティー」を使用して行います。「CentreCOM WR211AP ユーザーマニュアル」の「4.4.3 ファームウェア」に記述されている、WEB 設定管理ツールの「ファームウェア」の項目は削除されました。ファームウェア更新の手順は次の通りです。

ファームウェア更新の準備

(1) 最新版のファームウェアと AP ユーティリティーを入手します。入手方法につきましては、「CentreCOM WR211AP ユーザーマニュアル」の「E.3 最新ファームウェアの入手方法」を参照してください。

(2) ダウンロードしたファイル「WR211FFxxx.exe」をダブルクリックします。



ファイル名の「xxx」は、ファームウェアバージョンを表します。この数字は、バージョンアップされるごとにアップします。最新のファイル（数字の大きいもの）をダウンロードしてください。

(3) プログラムのインストール先を指定します。インストール先を変更したい場合は「参照」ボタンをクリックし、変更先を指定します。インストール先が決まったら「完了」ボタンをクリックします。

(4) セットアッププログラムが起動したら、「次へ」ボタンをクリックします。

- (5) 「使用許諾契約」の内容を確認し、「はい」ボタンをクリックします。
- (6) ユーティリティプログラムのインストール先を指定します。インストール先を変更したい場合は「参照」ボタンをクリックし、変更先を指定します。インストール先が決まったら「次へ」ボタンをクリックします。
- (7) ユーティリティプログラムのフォルダを指定します。フォルダを変更したい場合は、「プログラムフォルダ」に新しいフォルダ名を指定するか、既存のフォルダから選択します。フォルダが決まったら「次へ」ボタンをクリックします。
- (8) ユーティリティプログラムのインストールは終了です。「完了」ボタンをクリックします。

「ネットワーク経由のファームウェア更新」

「CentreCOM WR211AP ユーザーマニュアル」の「4.4.3 ファームウェア」に記述されている、WEB 設定管理ツールの「ファームウェア」の項目は削除されました。

ここでは、「ネットワーク経由のファームウェア更新」について手順を説明します。



注意

「AP ユーティリティー」を使用するには、「Internet Explorer 4.x」以降をインストールしておく必要があります。

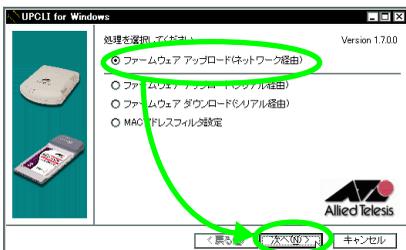
「Internet Explorer 4.x」以降がインストールされていないとエラーが表示され、AP ユーティリティーを使用できません。「Internet Explorer 4.x」以降をインストールしたら、インターネット接続のための設定を行ってください。



注意

アクセスポイントが接続されるネットワークにゲートウェイが存在する場合には、必ず、Web から本製品にアクセスし、設定管理ツールの「AP 設定」で、ゲートウェイアドレスを設定してください。設定されていないと、手順 (5) でエラーが表示されることがあります。

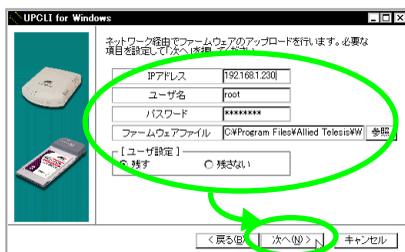
- (1) 「スタート」メニューから、「プログラム」 「CentreCOM WR211AP」 「CentreCOM WR211AP Utility」をクリックし、AP ユーティリティー「upcli.exe」を起動します。
- (2) 処理の選択画面で、「ファームウェアアップロード（ネットワーク経由）」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。



- (3) 本製品（WR211AP）の「IP アドレス」、Web からの設定管理ツールを起動するときに入力した「ユーザ名」と「パスワード」、アップロードするファームウェアファイルを設定します。ユーザ設定を「残す」「残さない」でファームウェア更新後も、現在の設定を保持するかどうかを選択します。「残す」をチェックすると、現在の設定を保持したまま、ファームウェアを更新することができます。「残さない」をチェックすると、現在の設定は保持されません。デフォルトでは、「残す」がチェックされています。設定が終わったら、「次へ」ボタンをクリックします。



最新版のファームウェアに更新する場合、「継続しない」を選択すると、本製品の設定は全て、工場出荷時の設定に戻りますので、現在の設定を記録するなどして、忘れないように注意してください。



アップロードするファームウェアがわからない場合は、「参照」ボタンをクリックし「C:\¥Program Files¥ Allied Telesis¥WR211AP Utility」ディレクトリの「Attkvxxx.bin」ファイルを選択します。

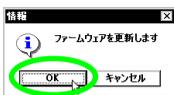


ファイル名の「xxx」は、ファームウェアバージョンを表します。この数字は、バージョンアップされるごとにアップします。最新のファイル（数字の大きいもの）を選択してください。

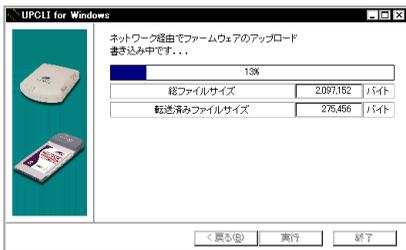
- (4) 設定した「IP アドレス」、「ユーザ名」、「パスワード」、「ファームウェアファイル」を確認し、「実行」ボタンをクリックします。



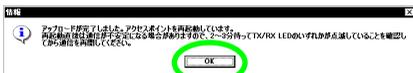
- (5) 「ファームウェアを更新します」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



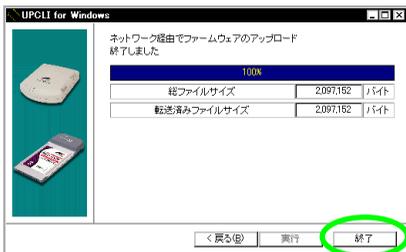
- (6) 「実行」ボタンをクリックします。AP コーティリティーがファームウェアを本製品に転送します。転送時間は、1 ~ 2分です。



- (7) ファームウェアの転送が終了すると、本製品は自動的に再起動します。「OK」ボタンをクリックします。



- (8) AP コーティリティーを終了します。



- (9) 更新後のファームウェアのバージョンは、WEB 設定管理ツールの「AP 情報」で確認できます。「情報表示」の追加項目」(p.5) の図を参照)

A ご注意

- 本マニュアルは、アライドテレシス (株) が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス (株) が保有しています。アライドテレシス (株) に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- アライドテレシス (株) は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- アライドテレシス (株) は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2000 アライドテレシス株式会社

B 商標について

CentreCOM はアライドテレシス株式会社の登録商標です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

C マニュアルバージョン

2000年10月

Rev.A 初版